## 研究・研修事業 研究内容一覧と各回のアンケート集計結果

## 学校教育部教育研究課

No.	開催日	講座名	講師		とても 高い	高い	票票	低い	とても 低い
	7/53(水)	不登校児童生徒の内面の理解に生かせる視   点	兵庫教育大学大学院・教授	理解	20%	18%	2%	1%	%0
_	· · · ·	不登校児童への支援をテーマに、具体的な事例 解決士法を学べる講応であった。また。 単係語	具体的な事例を挙げて多面的な視点からの問題 また 亜毎電を断た切るための自体的たプ	滿足	16%	20%	3%	1%	1%
	ф С 6 Н	昨八八伝でナーンの両圧、めつた。 また、 応帽珠    ローチも紹介され、実践的な知識を得ることも	で II 後で B らかる ためい 去 体 II パンプラング ことも 学べる 内容 であった。	役立つ	18%	18%	2%	1%	1%
	7/24 (水)	ュニバーサルデザインと特別支援教育 関西	関西国際大学・教授	抽框	%92	%87	1%	1%	%0
2	§ ₩ ₩	教育 把握 ***	ユニバーサルデザインに焦点を当て、受講者が子ども一人ひとり、その特性に応じた支援や授業を行うための工夫を学べる講座で降事の右無い問わらず、ナジアのユアギがおれる中に暗やのアメ	滞足	%28	14%	1%	1%	%0
	ф С 6 Н	めつた。また、	このが十つでする場合の	で立砂	84%	15%	1%	%0	%0
	(分)08/1	学校教育から見える自由進度学習とは 西宮	西宮市立小学校・教諭	抽框	%29	%08	3%	%0	%0
က	₩ ₩ ₩ ₩	「けテぶれ」という子どもたちが自らPDCAサイで、子どもたちの自主性を育みながら、学力向	らPDCAサイクルを回す教育手法に焦点を当ら、学力向上を目指すことを目的とした講座	滿足	%9	%22	%8	%0	%0
	ф С 6 Н	であった。詳細な理論だけでなく、具体的な実 講者が自分の教室でどのように取り入れるかを	は関が数多く紹介されており、受けるような機会を得られた。	役立つ	%99	36%	%6	%0	%0
	7/31 (水)	1人1台端末を活用した個別最適な学び 鳴門	鳴門教育大学大学院・准教授	抽缸	41%	%99	2%	2%	%0
4	§ ₹ +	ICTを活用した個別最適な学びを進めるためのJた。タブレットの効果的な活用方法や、児童生士は、Brisの目体的お経業構は囲熱を1Ctm)	進めるための方法に焦点を当てた講座であっ 5法や、児童生徒が自分のペースで学べる授業の 8軸終を1CTがしよの注用例を受える内容がも	滞足	52%	41%	%2	1%	%0
	# 5 6 H	がは、久りていみ体DなIX米件が在職へ1517~~2017年でです。 た。また、個別最適化の学習を進めるために、教師自身がICTを活用するスキル  を向上させる必要性も指摘されていた。	グランロルロです、シロケンのブ 教師自身がICTを活用するスキル	役立つ	48%	43%	%8	1%	%0

U
٠-
$\sim$

No.	開催日	講座名	講師		とても 高い	高い	普通	低い	とても 低い
5	8/1(木)	カリキュラム・マネジメント実現のための ICT教育	大阪教育大学大学院・特任教授	理解	53%	47%	0%	0%	0%
	主な内容 現	カリキュラム・マネジメントの重要性を理解し、実践するための講座であった。 具体的な例を通じて、カリキュラムマネジメントがどのように学校教育目標の具 現化や授業改善に寄与するかを学べる内容であった。特に、ICTの活用とカリ キュラム・マネジメントの連携が強調されていた。		満足	53%	44%	3%	0%	0%
				役立つ	56%	41%	3%	0%	0%
	8/2(金)	教育現場のなかのジェンダー&セクシュアリティの多様性をどう守るか~LGBTQの出前授業の実践から~	にじいろらいと・代表 (京都大学経営管理大学院・特定助教)	理解	52%	41%	6%	0%	0%
6	主か内容	上GBTQやジェンダーに関する理解を深めるための講座であった。性別や性的指向に関する最新情報や事例が紹介され、自分自身の価値観や無意識の偏見に気づ機会を得られる内容であった。また、教育現場での具体的な指導法と共に、まな個人が学び理解を深めることの重要性が強調されていた。		満足	56%	36%	5%	2%	0%
	土な内谷		役立つ	54%	35%	10%	1%	0%	
	8/6(火)	学校安全の考え方と進め方	大阪教育大学・教授/学長補佐 学校安全推進センター センター長	理解	77%	23%	0%	0%	0%
7	主な内容	学校安全に関する意識向上と具体的な取り約 的な安全視点の重要性を再認識し、学校内 安全対策の実施について考える機会となった。	での危機管理体制の見直しや具体的な	満足	87%	13%	0%	0%	0%
	土な内谷	学校安全の法令や事例をもとにした、意識であった。	改革と実践的な取り組みに繋がる内容	役立つ	80%	17%	3%	0%	0%
8	8/19(月)	「こどもの権利」を守る	子どもの権利サポート委員会・委員長	理解	60%	40%	0%	0%	0%
	主な内容	子どもの意見表明権を中心に、子どもの権利 た。子どもの意見を尊重し、聞くことの重要 ように活用できるかを考える機会が得られる。	要性を理解し、実際の教育現場でどの	満足	60%	35%	5%	0%	0%
	工'ない社	な割についても学び、心の声を引き出すこれた。		役立つ	75%	25%	0%	0%	0%

No.	開催日	講座名	講師		とても 高い	高い	普通	低い	とても
9	8/20(火)	感覚統合理論の支援で考える子どもの困り 感と支援	株式会社アニマシオン・作業療法士 (元 姫路獨協大学・教授)	理解	74%	26%	0%	0%	0%
	主な内容	感覚統合に関する内容を中心に、子どもの べる講座であった。特に感覚過敏についての		満足	89%	11%	0%	0%	0%
	工论的节	特性に寄り添うことの重要性や、支援するための具体的な方法を学べる内容であった。		役立つ	83%	17%	0%	0%	0%
10	8/23(金)	見えづらい部落差別、当事者の日常とは	関西大学社会学部・教授	理解	58%	39%	2%	0%	0%
	部落差別に関する問題を社会学的な視点から捉える講座であった。特に「予防接種としての部落問題学習」というアプローチや、無意識のうちに行われる差別や、善意による差別など、差別のメカニズムや社会的背景を学ぶことができる内容であった。さらに、情報の真偽を見極める重要性や、差別の現状とその影響を明確に理解できるものであった。		チや、無意識のうちに行われる差別	満足	50%	41%	7%	2%	0%
			役立つ	57%	37%	5%	0%	0%	